

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第71期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	フリージア・マクロス株式会社
【英訳名】	FREESIA MACROSS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 奥山 一寸法師
【本店の所在の場所】	東京都千代田区外神田六丁目8番3号
【電話番号】	03-5818-1522（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 篠崎 温儀
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区外神田六丁目8番3号
【電話番号】	03-5818-1522（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 篠崎 温儀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第2四半期連結 累計期間	第71期 第2四半期連結 累計期間	第70期
会計期間	自 平成24年 4月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 9月30日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日
売上高 (千円)	5,817,674	5,110,216	11,906,586
経常利益 (千円)	259,520	318,222	522,721
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)	35,326	62,013	76,458
四半期包括利益又は包 括利益 (千円)	43,783	202,219	290,953
純資産額 (千円)	6,742,537	7,183,615	6,989,934
総資産額 (千円)	16,946,524	14,889,727	15,678,809
1株当たり四半期(当 期)純利益金額又は1株 当たり四半期純損失金 額() (円)	0.08	0.14	0.17
潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純 利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	26.6	31.5	29.6
営業活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	713,942	510,682	71,630
投資活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	331,899	430,663	151,997
財務活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	63,952	33,708	144,624
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	565,142	271,142	1,178,779

回次	第70期 第2四半期連結 会計期間	第71期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年 7月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 7月1日 至 平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利 益金額 (円)	0.08	0.10

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による輸出の持ち直し、生産の増加などにより企業収益が好転し、景気は回復局面にあります。また経済政策の効果などにより更に景気回復が強まることが期待されています。

かかる情勢の下での当グループの経営成績は、売上高は、5,110百万円と前年同四半期と比べ707百万円(12.2%)減少しました。営業利益は、266百万円と前年同四半期に比べ18百万円(6.5%)の減少となりました。経常利益は、318百万円と前年同四半期に比べ58百万円(22.6%)の増加となりました。

また、四半期純利益は、62百万円(前年同四半期純損失35百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

製造供給事業

本事業においては、押出機等の販売は本体販売も含め順調に推移したものの、回復が遅れているプリント基板の受注減少を補うまでとはならず、売上高は1,185百万円と前年同四半期に比べ182百万円減少しました。しかし、固定費削減等により、前年同四半期より損失額が少なくなり、セグメント損失は、36百万円(前年同四半期セグメント損失63百万円)となりました。

住宅関連事業

本事業においては、前年同四半期と比較して、マンションの竣工が下期に遅れた影響を受け、その引渡数が減少したことにより、売上高は3,783百万円と前年同四半期に比べ551百万円減少し、セグメント利益は210百万円と前年同四半期に比べ86百万円の減少となりました。当該事業は比較的堅調に推移しており、通期においては計画通りに推移するものと想定しております。

投資・流通サービス事業

本事業においては、売上高は271百万円と前年同四半期に比べ13百万円増加し、セグメント利益も、91百万円と前年同四半期に比べ19百万円の増加となり、今後も堅調に推移するものと想定しております。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ789百万円減少し、14,889百万円となりました。主な要因は、現金及び預金等が減少したことなどによります。

また、負債は、前連結会計年度末に比べ、982百万円減少し、7,706百万円となりました。主な要因は、マンション建設に伴う支払手形及び買掛金、未払金等が減少したことなどによります。

この結果、純資産は前連結会計年度末に比べ193百万円増加し、7,183百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より907百万円減少し、271百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の支出は、510百万円(前年同四半期は713百万円の支出)となりました。主な要因は、マンション建設に伴う仕入債務の減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は、430百万円(前年同四半期は331百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の収入は、33百万円(前年同四半期は63百万円の収入)となりました。主な要因は、社債発行による収入などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,800,000,000
計	1,800,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	450,993,208	450,993,208	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	450,993,208	450,993,208	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	450,993,208	-	2,077	-	973

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合 (%)
フリージアハウス株式会社	東京都千代田区外神田6丁目8-3	282,845	62.71
ライフ・リフレッシュ・サービス株式会社	東京都千代田区麹町4丁目6-8	10,941	2.42
徳田 秀子	鹿児島県鹿児島市	8,000	1.77
夢みつけ隊株式会社	東京都新宿区愛住町13-10	6,851	1.51
佐々木 ベジ	東京都千代田区	2,985	0.66
楽天証券株式会社	東京都品川区東品川4丁目12番3号	2,562	0.56
秋田ハウス株式会社	秋田県由利本荘市川口後野19番地の5	2,308	0.51
マネックス証券株式会社	東京都千代田区麹町2丁目4-1	1,983	0.43
刀根 康浩	三重県松阪市	1,740	0.38
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	1,640	0.36
計	-	321,855	71.36

(注) 上記のほか、証券保管振替機構名義の株式が、2,420千株(所有割合0.53%)あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 854,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 449,280,000	449,280	(注1)
単元未満株式	普通株式 859,208	-	(注2)
発行済株式総数	450,993,208	-	-
総株主の議決権	-	449,280	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の株式数には、証券保管振替機構名義の株式2,420,000株が、「議決権の数」には、証券保管振替機構名義の議決権2,420個がそれぞれ含まれております。

2 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式567株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
フリージア・マクロス(株)	東京都千代田区外 神田6-8-3	854,000	-	854,000	0.18
計	-	854,000	-	854,000	0.18

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清流監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,290,826	408,395
受取手形及び売掛金	1,420,492	1,427,412
たな卸資産	¹ 3,888,997	¹ 3,786,742
短期貸付金	323,329	269,617
繰延税金資産	40,767	49,252
その他	777,149	824,362
貸倒引当金	25,265	22,841
流動資産合計	7,716,297	6,742,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,485,100	2,532,488
機械装置及び運搬具	644,409	650,955
土地	3,926,307	4,067,957
建設仮勘定	14,922	28,621
その他	146,769	126,087
減価償却累計額	2,043,828	2,112,344
減損損失累計額	230,302	230,302
有形固定資産合計	4,943,379	5,063,463
無形固定資産		
借地権	323,595	323,595
その他	28,779	28,432
無形固定資産合計	352,374	352,028
投資その他の資産		
投資有価証券	32,723	33,090
関係会社株式	1,947,065	2,020,572
長期貸付金	36,067	35,288
差入保証金	482,706	475,124
繰延税金資産	9,096	9,173
その他	178,353	176,222
貸倒引当金	19,255	18,176
投資その他の資産合計	2,666,757	2,731,293
固定資産合計	7,962,511	8,146,785
資産合計	15,678,809	14,889,727

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,620,196	1,385,788
短期借入金	1,369,788	1,373,201
1年内返済予定の長期借入金	773,621	698,364
1年内償還予定の社債	46,000	194,000
未払金	844,192	292,496
未成工事受入金	230,919	212,950
未払法人税等	166,828	225,400
完成工事補償引当金	49,822	39,485
賞与引当金	24,780	29,220
繰延税金負債	2,716	2,921
その他	543,195	570,314
流動負債合計	5,672,062	5,024,145
固定負債		
社債	264,000	233,000
長期借入金	1,740,687	1,737,777
繰延税金負債	157,440	157,238
退職給付引当金	8,474	8,700
負ののれん	173,962	167,293
その他	672,247	377,956
固定負債合計	3,016,812	2,681,965
負債合計	8,688,875	7,706,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,077,766	2,077,766
資本剰余金	973,803	973,803
利益剰余金	1,658,752	1,712,400
自己株式	18,350	18,462
株主資本合計	4,691,971	4,745,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,534	50,409
その他の包括利益累計額合計	53,534	50,409
少数株主持分	2,351,496	2,488,517
純資産合計	6,989,934	7,183,615
負債純資産合計	15,678,809	14,889,727

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	5,817,674	5,110,216
売上原価	3,637,129	3,180,497
売上総利益	2,180,544	1,929,719
販売費及び一般管理費	¹ 1,895,784	¹ 1,663,546
営業利益	284,760	266,172
営業外収益		
受取利息	1,385	3,435
受取配当金	930	1,973
負ののれん償却額	10,952	10,952
持分法による投資利益	20,761	83,513
その他	30,451	28,607
営業外収益合計	64,481	128,482
営業外費用		
支払利息	51,550	50,982
その他	38,170	25,450
営業外費用合計	89,721	76,433
経常利益	259,520	318,222
特別利益		
固定資産売却益	-	299
受取保険金	-	85,224
特別利益合計	-	85,524
特別損失		
固定資産除却損	1,347	-
投資有価証券評価損	9,999	-
関係会社株式評価損	999	-
関係会社株式売却損	18,140	-
特別損失合計	30,488	-
税金等調整前四半期純利益	229,032	403,746
法人税、住民税及び事業税	177,416	213,343
法人税等調整額	5,011	8,689
法人税等合計	182,428	204,654
少数株主損益調整前四半期純利益	46,603	199,092
少数株主利益	81,930	137,078
四半期純利益又は四半期純損失()	35,326	62,013

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46,603	199,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	774	235
持分法適用会社に対する持分相当額	3,595	2,890
その他の包括利益合計	2,820	3,126
四半期包括利益	43,783	202,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,123	65,137
少数株主に係る四半期包括利益	82,906	137,081

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	229,032	403,746
減価償却費	93,563	76,688
のれん償却額	24,140	6,669
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,973	3,502
退職給付引当金の増減額(は減少)	226	226
受取利息及び受取配当金	2,316	5,408
支払利息	51,550	50,982
受取保険金	-	85,224
持分法による投資損益(は益)	20,761	83,513
固定資産除却損	1,347	-
有形固定資産売却損益(は益)	-	299
投資有価証券評価損益(は益)	9,999	-
関係会社株式売却損益(は益)	18,140	-
関係会社株式評価損	999	-
売上債権の増減額(は増加)	149,830	30,951
たな卸資産の増減額(は増加)	1,528,259	102,254
仕入債務の増減額(は減少)	70,563	463,892
未払消費税等の増減額(は減少)	14,288	3,783
その他	698,106	353,035
小計	486,232	394,815
利息及び配当金の受取額	2,109	5,408
利息の支払額	51,740	51,727
保険金の受取額	-	85,224
法人税等の支払額	178,079	154,771
営業活動によるキャッシュ・フロー	713,942	510,682
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	10,205	25,206
有形固定資産の取得による支出	77,628	194,338
有形固定資産の売却による収入	-	300
投資有価証券の売却による収入	54	-
貸付けによる支出	213,616	487,252
貸付金の回収による収入	171,759	541,744
差入保証金の差入による支出	193,986	3,745
差入保証金の回収による収入	-	43,179
預り保証金の返還による支出	-	288,246
預り保証金の受入による収入	3,184	10,113
投資その他の資産の増減額(は増加)	11,459	27,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	331,899	430,663

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	238,838	3,412
長期借入金の返済による支出	311,332	413,167
長期借入れによる収入	160,000	335,000
社債の償還による支出	15,000	23,000
社債の発行による収入	-	140,000
自己株式の取得による支出	52	112
子会社の自己株式の取得による支出	-	60
配当金の支払額	8,500	8,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,952	33,708
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	981,889	907,637
現金及び現金同等物の期首残高	1,547,032	1,178,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 565,142	¹ 271,142

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
商品	32,531千円	27,632千円
製品	71,501	51,507
原材料	401,040	453,939
仕掛品	138,779	101,470
未成工事支出金	172,047	179,387
販売用不動産	3,065,457	2,965,333
貯蔵品	7,640	7,471

2 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
マツヤハウジング(株)	160,000千円	- 千円

3 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形割引高	563,017千円	531,721千円
受取手形裏書譲渡高	- 千円	1,371千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主な費用及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与手当	519,797千円	437,914千円
貸倒引当金繰入額	8,920	4,789

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	705,280千円	408,395千円
預入期間が3か月超の定期預金	140,137	137,253
現金及び現金同等物	565,142	271,142

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	22,507	0.05	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	22,507	0.05	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	製造供給事業	住宅関連事業	投資・流通 サービス事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,355,135	4,296,412	166,125	5,817,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,279	38,701	91,724	142,705
計	1,367,414	4,335,114	257,850	5,960,379
セグメント利益又は損失()	63,910	297,252	71,757	305,098

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	305,098
セグメント間取引消去	14,755
のれんの償却額	35,093
四半期連結損益計算書の営業利益	284,760

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	製造供給事業	住宅関連事業	投資・流通 サービス事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,180,479	3,756,475	173,261	5,110,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,587	27,244	97,842	129,674
計	1,185,066	3,783,720	271,104	5,239,890
セグメント利益又は損失()	36,945	210,585	91,421	265,061

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	265,061
セグメント間取引消去	5,394
のれんの償却額	4,283
四半期連結損益計算書の営業利益	266,172

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	0円8銭	0円14銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	35,326	62,013
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	35,326	62,013
普通株式の期中平均株式数(千株)	450,147	450,141

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

フリージア・マクロス株式会社
取締役会 御中

清流監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 安田 裕 印

業務執行社員 公認会計士 加悦 正史 印

業務執行社員 公認会計士 梶山 貴規 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフリージア・マクロス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フリージア・マクロス株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。